



千日紅



花言葉は「安全」

第7号



平成29年 7 月20日

発行：入谷小学校

文責：主幹教諭 小野寺孝夫

安全対策を忘れずに！



先週、7月15日(土)震災以降7年ぶりに町内の海水浴場『サンオーレそではま』がオープンとなりました。入谷地区は山の里ではありますが、南三陸町内の海が「海開き」となればこれから夏休みにかけて幾度となく訪れることになるのではと思います。この夏にマリンレジャーを楽しむために「安全対策を忘れずに！」を心がけて過ごしていただけることを願っています。

マリンレジャーの安全対策「3つの基本」

基本1 ライフジャケットの常時着用

釣り、磯遊び、水上バイクなど海に落ちても、ライフジャケットを着用していれば、海面に浮かんで助けを待つことができます。

基本2 防水パック入り携帯電話の携行

マリトレジャーの大半は海浜や沿岸で行われることから、携帯電話やスマートフォンの電波が届くことが多い。防水パック等に携帯電話を入れて携行していれば、事故に遭ったり事故を見聞したりした際に助けを呼ぶことができます。

基本3 118番の活用

マリネレジャーの事故に遭ったり事故を見聞きたりした際は、海上保安庁の緊急通報用電話番号「118」へ電話を！ 最寄りの管区海上保安本部につながります。

海水浴を安全に楽しむためには

遊泳禁止区域で泳がない、離岸流にご注意を！



★ネット安全利用のあいことば★

じょいふる



「自画撮り」しない送らない!

夜はケータイ使わない!

いじわる言わない書き込まない!

フィルタリングで自分を守ろう!

ルールを親子で話し合おう!



上記の震災や非行に負けない強い心をもった子どもに育ってほしいとの願いを込め、宮城県警察が考案した非行防止の合言葉です。また、左記の「よいふる」は、子ども達にスマートフォンや携帯電話を安全に楽しく使用できるように使ってほしい、という願いを込め、特に大切な５つのポイントを集約した宮城県警独自の合言葉です。二つの合い言葉を活用しよい思い出の多い夏休みが過ごせるように私たち大人が声がけしていきます。

子供の非行・被害を防ぐために

子供たちが健やかに育ってほしい。それは子供の家族や周囲の大人だけでなく、社会全体の願いです。しかし、家庭や学校、地域社会などに、子供を取り巻く様々な環境の中で、ささいなきっかけで、非行に走ったり、犯罪の被害に遭ったりする子供も少なくありません。毎年七月は「青少年の非行・被害防止全国強調月間」。青少年を非行や犯罪被害から守るために、大人は何をすべきかを考え、夏休みの子どもたちを見守りましょう。

